食育推進リーダーの育成

令和2年度食料産業・6次産業化交付金 地域での食育の推進事業(食育事例)

しょく(食・職)場づくり担い手育成講座

事業実施主体:志木市(埼玉県)

〇近年、「孤食」や「低栄養」、「肥満」等、「食」に関わるリスクの増加が懸念されているため、行政と民間企業(ハウス食品グループ本社(株))が連携し「しょく(食・職)場づくり担い手育成・食育推進事業」(令和元年度~令和3年度)を実施し、地域を「食」で支える環境整備を目指している。

〇「地域で食育を推進する人材」及び「食を通じた集いの場を運営する人材」を発掘・育成し、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせるまちをつくるため、しょく(食・職)場づくり担い手育成講座を開催し、しょく(食・職)場づくりサポーターを育成する。

〇食の担い手を育成することによって、国の第3次食育推進基本計画の目標である「地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす」、「食育の推進に関わるボランティアの数を増やす」に寄与する。



【取組の内容】

○しょく(食・職)場づくり担い手育成講座の開催

調理実習を通して栄養や家庭で実践できる知識を学ぶ「食育編」と地域活動を始めるためのノウハウを学ぶ「地域編」の講座を各年間10回、夏休みに親子編1回の計21回開催。年間を通して参加し、Myプラン(講座を受講しながら考える自分のやりたいことや、あったらいいなと思う講座の企画書)が提出できた方をしょく(食・職)場づくりサポーターとして認定。

○講座の様子

毎回テーマを変えてテキストを用意し、座学、個人ワーク、グループワーク、調理実習を組み合わせて講座を実施した。



テキスト表紙



地元生産者の講話



調理実習

○コロナ禍での対応

感染症対策として定員を減らし、午前・午後に同じ内容で講座を開催した。緊急事態宣言中はZoomを使ったオンライン講座で継続した。

【取組の成果】

令和2年度実績

食育講座10回、地域講座10回、親子講座1回 実施 。 全21回(うちオンライン講座6回) 延べ参加者数269人 実人数 82人 ⇒ このうち12人がMyプランを提出。 しょく(食・職)場づくりサポーター認定 12人

認定後、サポーターは、市民向け講座「サロン・ド・もくせい」を計画・主催し、自立した地域食育活動を展開。



※ 緊急事態宣言により、開催は次年度に繰り越しとなった。 今後はサポーター中心に月1回開催。

